

ダムの風だより



国土交通省大町ダム

“ダムの風だより”は国土交通省
大町ダム管理所が発行する広報誌です。



洪水に備えていきます

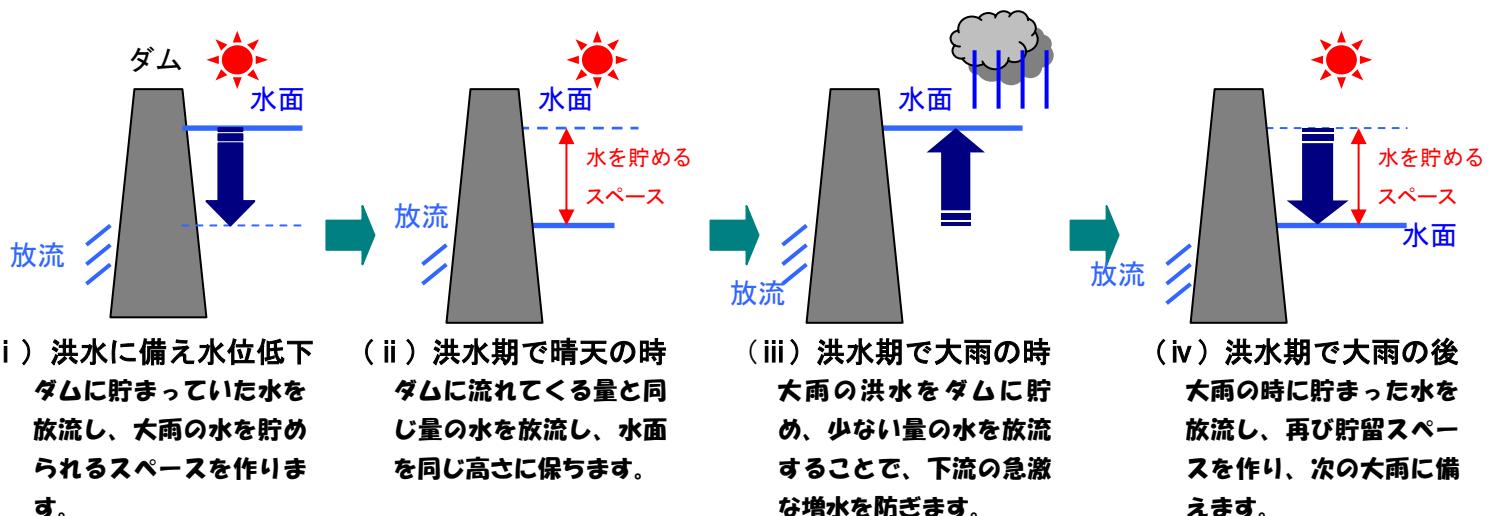
大町ダムのキャラクター「犀龍と小太郎」

皆さん、ダムがどのように洪水の調節をしているかご存じですか？今回は、洪水に対してダムがどのように対応しているのかを紹介いたします。

6月1日から9月30日までを大雨が降りやすい時期（洪水期）として定めています。この期間は、常に水位を一定の高さまで下げ、大雨が降ったときにダムへ貯留できるスペース（木崎湖と同じ位の量）を確保しています。

大町ダムに流れ込む水量が毎秒 200m³ まではダムへ流れ込む水量と同じ水量を放流し、流れ込む水量がそれを超える場合には確保しておいたスペースに貯留しつつ、下流で急激な増水が起こらぬように少しづつ放流量を増加させていきます。

このように、ダムは急激な増水から住民のみなさんを守ります。



地震が起きたら点検します

大町ダムでは、日頃から、ダムの各施設が正常に動いているかどうか点検整備を行っています。

また、機器の故障といった万一の事態に備えて、各施設の操作訓練をおこなっています。

震度 4 以上の地震が起きたときは、ダムに異常が無いかをただちに点検を行います。

具体的には、

- ダム本体のコンクリートにひび割れがないか
- 異常な漏水はないか
- ダムの各施設に異常はないか
- 貯水池法面が崩れていないか

などの項目を確認します。



巡回船による
貯水池法面の
点検



ダム操作機器
の点検

東北地方太平洋沖地震による管理ダムの状況

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」等により、415 施設（直轄・機構・補助・利水）の臨時点検を実施しました。国管理、機構管理、補助ダムにおいては、ダム本体において管理上支障となる被害の報告はありませんでした。（ここで言うダムとは、堤高 15m 以上の重力式ダム、アーチ式ダム、フィルダムのこと）

今年も高瀬渓谷フェスティバル～森と湖に親しむ旬間～を開催

太陽がまぶしい季節となりました。今年も高瀬渓谷フェスティバルを開催いたします。

日時：平成 23 年 7 月 30 日（土）9 時～（雨天中止）会場：大町ダム（駐車場あり）

職員一同、皆様のお越しをお待ちしております。



ダム内部見学



サンドアート・とろとろ石器作り



丸太切・木工品作り



野鳥・ダムの観察コーナー



龍神湖巡視



スタンプラリー



砂防展



安曇野の民話

洪水対応演習を実施しました

大町ダムでは洪水対応演習を行いました。これは、洪水時においてダムの安全な管理ができるよう、毎年 5 月に全国のダムで行われている防災訓練です。

当日は、大雨が降り洪水が起きる恐れがあるという想定のもと、職員達は実際に関係機関へ連絡を取り合ったり、またゲート操作の方法を再確認するなど、緊張した面持ちで演習に取り組みました。



洪水防災一冊メモ(1回目)

～時間●ミリの雨ってどんな雨？～

普段の天気予報でよく使われいる「時間●ミリの雨」という言葉。でもこれってどのような雨かわかりますか？ 気象庁によれば、

時間雨量(ミリ)	人の受けた印象	災害発生状況
10 ミリ～	ザーザと降る	長く続く時は注意が必要
20 ミリ～	土砂降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30 ミリ～	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる
50 ミリ～	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する
80 ミリ～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

大町ダムでは、流域内において連続雨量（休まず降った雨）が 40 ミリに達し、さらに時間雨量 10 ミリを超えると予想される時や、流域内で総雨量が 80 ミリを超えた時などに洪水警戒体制をとり、関係機関との連絡やゲート操作などを行います。雨は河川の流量と密接な関係があります。レジャーなどで川へお出かけの際、また大雨で洪水が予想される時などは、天気予報の言葉や表現に注意しましょう。そして、危険が予想される時は、早めに安全なところへ避難しましょう。

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。
ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロヲ大クボ 2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512